

公益社団法人 日本麻酔科学会 総務委員会 麻酔科医適正配置プロジェクト
「麻酔科医のマンパワーに関する調査 “マンパワーアンケート”」
－ 結果報告 (概要) －

2012年2月20日
公益社団法人日本麻酔科学会
総務委員長・麻酔科医適正配置プロジェクト長
瀬尾 勝弘

麻酔科学会総務委員会が2011年1月から3月にかけて実施した「麻酔科医のマンパワーに関する調査 (以下、マンパワーアンケート)」の結果の概要をお知らせします。

1. 調査用紙配布と回収状況

調査用紙は、4634件の施設と個人に送付し、回答総数は1603通 (回収率35%) でした。

送付対象と回答数の内訳は、それぞれ、A. 一般病院が3970件中1284通 (回収率32%)、B. 大学病院が164件中103通 (回収率63%)、C. 個人医師が500件中216通 (回収率43%) でした。

2. 回答結果

回答結果を、A. 一般病院、B. 大学病院、C. 個人医師の順に、回答者の背景、I. マンパワーと麻酔業務の実態、II. 麻酔科医の業務内容について、以下のとおりお示しします。

A. 一般病院

回答者の背景 (図 A-1～7) :

回答者の身分、設置主体、都道府県、病院全体の病床数、平均在院日数、外科系平均在院日数、手術の有無を示します。最頻値は、病床数が100床未満、平均在院日数が10～20日でした。手術を行っている施設が78%を占めていました。

I. マンパワーと麻酔業務の実態

常勤非常勤の別を問わず麻酔科に専従する医師の有無、現有手術室数、手術床数の分布を示します (図 A-8～10)。56%の施設で麻酔科に専従する医師がいました。最頻値は、手術室数および手術床数が3でした。

1) 手術症例数

年間総手術症例数 (2009年度) とそのうちの全身麻酔、脊麻または硬膜外麻酔の症例数の分布を示します (図 A-11～13)。

年間総手術件数は、年間500件未満の施設がもっとも多いという結果でした。

2010年10月の1ヵ月間について、月間総手術症例数などの分布を示します (図 A-14～16)。

月間総手術件数は、100件未満の施設がもっとも多くなっていました。

月間総手術時間、長時間 (6時間以上) 症例数、手術終了が19時以降の症例数の分布を示します (図 A-17～19)。

月間の総手術時間は、200時間未満の施設がもっとも多かったという結果でした。6時間以上の長時間症例数が20件未満というのが1284施設中675施設で、未記入が539施設ありました。19時を超える手術が20件未満というのが1284施設中600施設で、未記入が550施設ありました。

2) 当直、宅直制度

当直、宅直制度の有無、当直明けの勤務条件と軽減状況を示します (図 A-20～23)。

当直明けの勤務条件については60%が未記入でしたが、残りの40%のうち全日勤務をしている施設が29%で記入した施設のうちの7割以上を占めました。

3) 女性医師への施設内制度

産休制度、育児休暇制度、保育所の有無、病児保育、夜間保育、実際の保育所利用の実

情を示します (図 A-24~29)。

産休、育児休暇制度は、未記入が 26%あり、残りの大半である 70%弱の施設でありましたが、病児保育、夜間保育ができるのは、それぞれ 27%、44%でした。保育所がある施設は、未記入が 25%あり、残りの約半分の 36%にありましたが、実際に利用されているのは 18%にとどまっています。

4) 麻酔業務の担当配分 (図 A-30)

麻酔科医の業務担当配分として、常勤フルタイム雇用で後期研修終了以上の麻酔科医が 48%を占めていて、常勤麻酔科医全体としては 52%となり、初期研修医の 2%を含めても全体の 54%で、残りは院内の外科系医師が 19%、院外の麻酔科医が 22%を占めていました。麻酔科医監督下の看護師が麻酔業務を担当している割合は 1%を占めていました。

5) 外部への要請 (図 A-31、32)

外部要請の問題点、謝金の日換算金額についての回答を示します。

6) 後期研修医以外の常勤麻酔科医の供給ルート (図 A-33)

常勤麻酔科医の供給ルートとして、未記入が 30%で、単一の大学からは 25%、複数の大学からは 8%でした。

II. 麻酔科医の業務内容

1) 手術部、ICU、ペインクリニック、救急部門

手術室に関与する臨床工学技士は、未記入が 27%で、残りの過半数である 43%の施設で配属されて、麻酔科器モニター設置・点検を行う医師以外の医療職は 59%の施設に配属されていて、その職種でもっとも多かったのは、未回答の 30%を除いて比率を計算すると看護師が 63%でもっとも多い結果でした (図 A-34~36)。

麻酔業務を何らかの形で補助する医療クラークは、27%の施設にいました (図 A-37)。

ICU、ペインクリニックは、30%前後の施設で設置されていました (図 A-38~40)。

術後痛対応チームは、3%の施設で編成されているのみでした (図 A-41)。

救急部門は未記入が 27%で、27%の施設にありました (図 A-42)。

2) 常勤麻酔科医の充足状態

常勤麻酔科医が充足していると回答した施設は、未記入が 45%でしたが、わずかに 15%でした (図 A-43)。

3) 常勤麻酔科医の不足の理由

常勤麻酔科医の不足の理由としては、充当できる人員がないという回答がもっとも多く占めていました (図 A-44)。

4) 病院施設幹部の麻酔科への理解

未記入が 44%でしたが、残りの大半である 51%の施設で病院施設幹部の麻酔科医の理解が得られているということで、得られていないという回答は 5%のみでした (図 A-45)。

B. 大学病院

回答者の背景 (図 B-1~6) :

回答者の身分、大学の設置主体、都道府県、病院全体の病床数、平均在院日数、外科系平均在院日数を示します。最頻値は、病床数が 600~700 床、平均在院日数が 16 日でした。

I. マンパワーと麻酔業務の実態

麻酔科医局の総医局員数、現有手術室数、手術床数の分布を示します (図 B-7~9)。最頻値は、総医局員数が 40~50、手術室数および手術床数が 13 でした。

1) 手術症例数

年間総手術症例数 (2009 年度) とそのうちの全身麻酔、脊麻または硬膜外麻酔の症例数の分布を示します (図 B-10~12)。

年間総手術件数は、年間 6000~7000 件の施設がもっとも多いという結果でした。

2010 年 10 月の 1 ヶ月間について、月間総手術症例数などの分布を示します (図 B-13 ~ 15)。

月間総手術件数は、400~500 件の施設がもっとも多くなっていました。

月間総手術時間、長時間 (6 時間以上) 症例数、手術終了が 19 時以降の症例数の分布を示します (図 B-16~18)。

月間の総手術時間は施設によるばらつきが大きかったのですが、2000 時間を超える施設

がもっとも多かったという結果でした。6時間以上の長時間症例数が10件未満というのは、103施設中22施設だけで、19時を超える手術が10件未満というのは16施設だけでした。

2) 当直、宅直制度

当直、宅直制度の有無、当直明けの勤務条件と軽減状況を示します (図 B-19 ~22)。

当直明けにも全日勤務をしている施設が62%ありました。

3) 女性医師への施設内制度

産休制度、育児休暇制度、保育所の有無、病児保育、夜間保育、実際の保育所利用の実情を示します (図 B-23~28)。

産休、育児休暇制度は、90%程度ありましたが、病児保育、夜間保育ができるのは、40%未満でした。保育所がある施設は58%でしたが、実際に利用されているのは57%にとどまっています。

4) 麻酔業務の担当配分 (図 B-29)

麻酔科医の業務担当配分として、常勤フルタイム雇用で後期研修終了以上の麻酔科医が57%を占めていて、常勤麻酔科医全体としては78%となり、初期研修医の16%を含めると全体の94%の麻酔業務が行われていました。

5) 外部への要請 (図 B-30、31)

外部要請の問題点、謝金の一日換算金額についての回答を示します。

II. 麻酔科医の業務内容

1) 手術部、ICU、ペインクリニック、救急部門

手術室に関与する臨床工学技士は79%の施設で配属されて、麻酔器モニター設置・点検を行う医師以外の医療職は78%の施設に配属されていて、その職種でもっとも多かったのは、未回答の30%を除くと看護師が27%でもっとも多い結果でした (図 B-32~34)。

麻酔業務を何らかの形で補助する医療クラークは、41%の施設にいました (図 B-35)。

ICU、ペインクリニックは、80%弱の施設で設置されていました (図 B-36~38)。

術後痛対応チームは、14%の施設で編成されているのみでした (図 B-39)。

救急部門は72%の施設にありました (図 B-40)。

2) 常勤麻酔科医の充足状態

常勤麻酔科医が充足していると回答した施設は、わずかに13%でした (図 B-41)。

3) 常勤麻酔科医の不足の理由

常勤麻酔科医の不足の理由としては、充当できる人員がないという回答が60%を占めていました (図 B-42)。

4) 病院施設幹部の麻酔科への理解

79%の施設で、病院施設幹部の麻酔科医の理解が得られているということでした (図 B-43)。

C. 個人調査

回答者の背景：

年齢分布、身分、病院の設置主体、主たる業務内容、仕事の配分割合、病床数、手術室数、全身麻酔症例数、常勤麻酔科医師数の分布を示します (図 C-1~12)。

回答者の身分としては、責任を自覚しているためと思われるように管理職が多数を占めました。

2010年10月の、回答者の緊急呼び出し回数、時間外労働時間、施設での月間全身麻酔症例数、回答者の月間全身麻酔症例数、合計時間、手術室責任者として関与した全身麻酔件数を示します (図 C-13~23)。

6時間以上の長時間症例数、17時を超える手術を示します (図 C-24~27)。

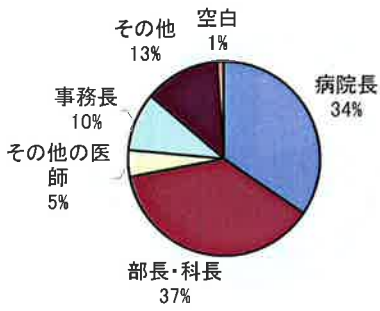
2009年度1年間の年次有給休暇取得数は、ほとんどが10日以下でした (図 C-28、29)。

所属施設における年収、他施設勤務給与などを含めた年収合計、現在の満足度、不満の内容を示します (図 C-30~33)。

アンケート調査実施後1年近く経過しましたが、以上、集計結果の概要をご報告します。

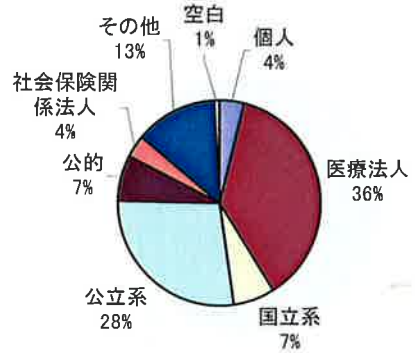
図A-1

身分



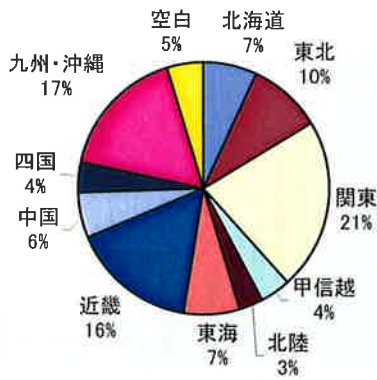
図A-2

設置主体



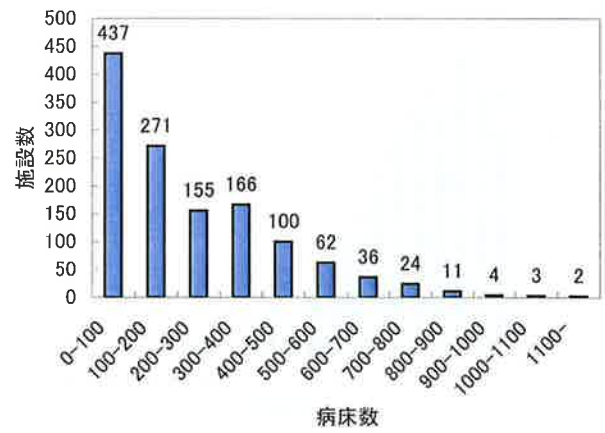
図A-3

設置都道府県



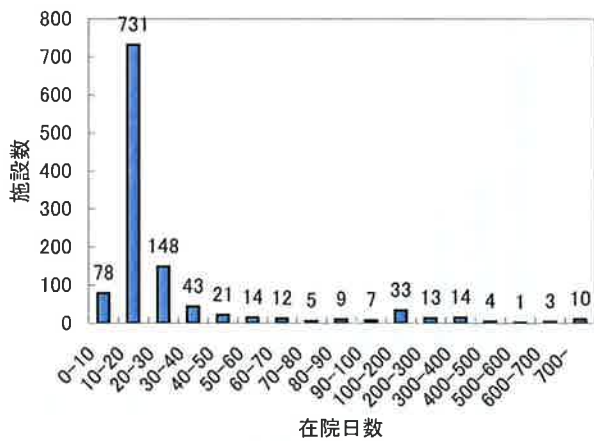
図A-4

病床数



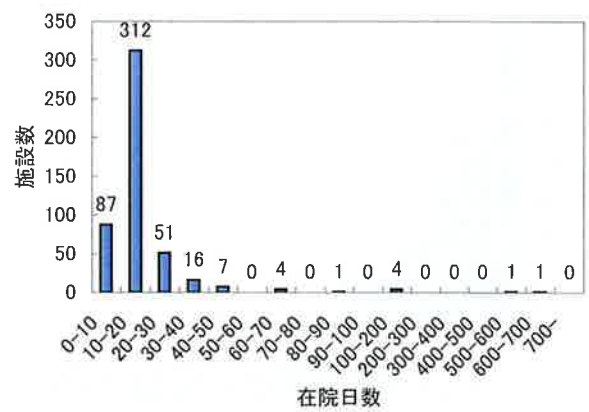
図A-5

平均在院日数



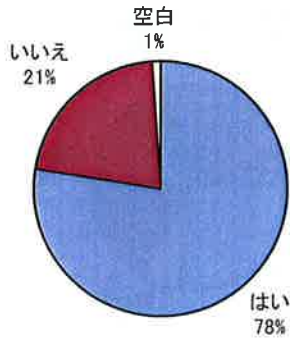
図A-6

外科系在院日数



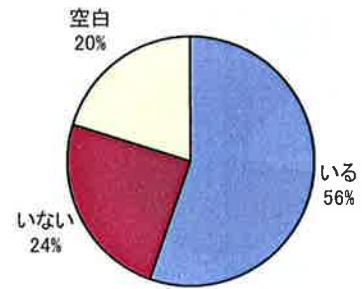
図A-7

手術の有無



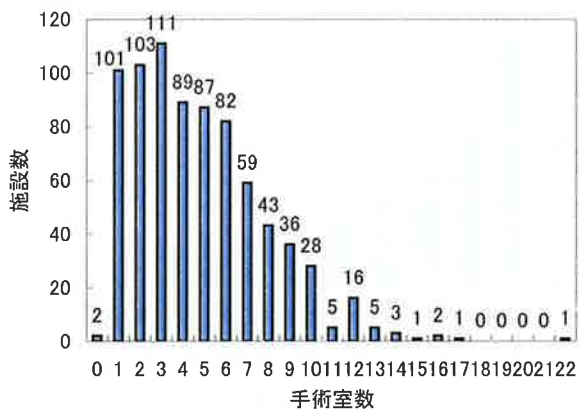
図A-8

1)専従する医師の有無



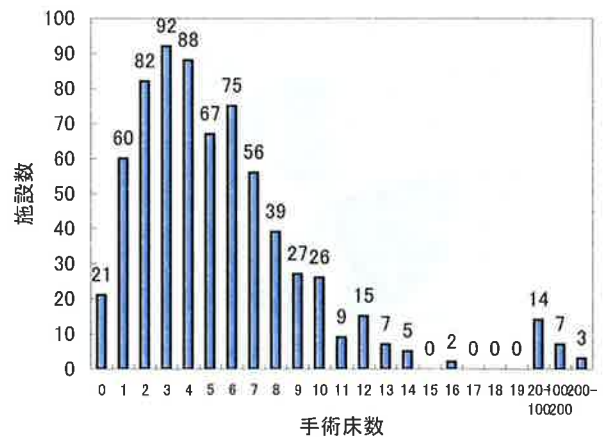
図A-9

4) 現有手術室数



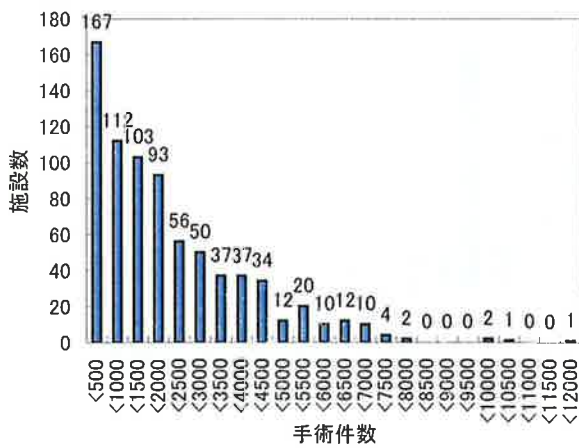
図A-10

4) 現有手術床数



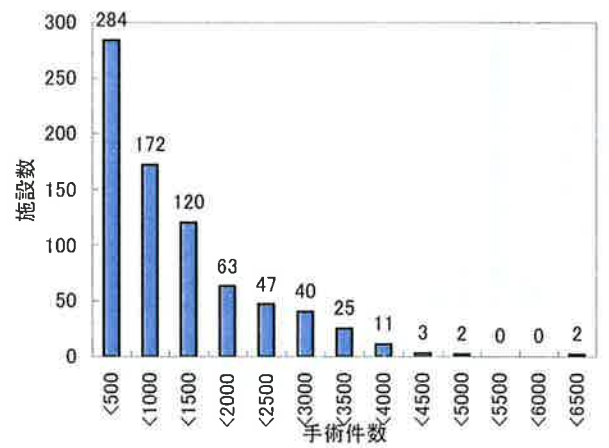
図A-11

5) 年間手術症例数(2009年度)
総手術例数



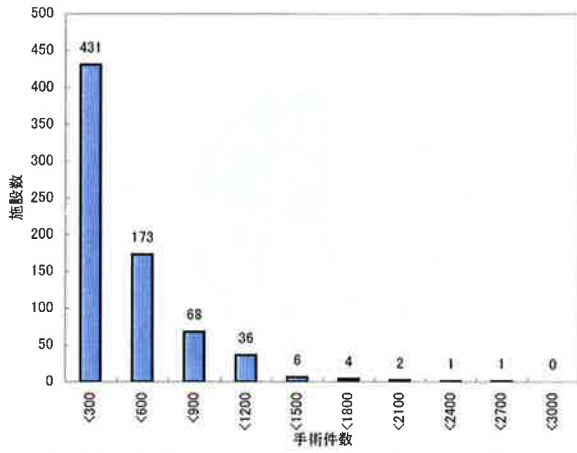
図A-12

5) 年間手術症例数(2009年度)
全身麻酔



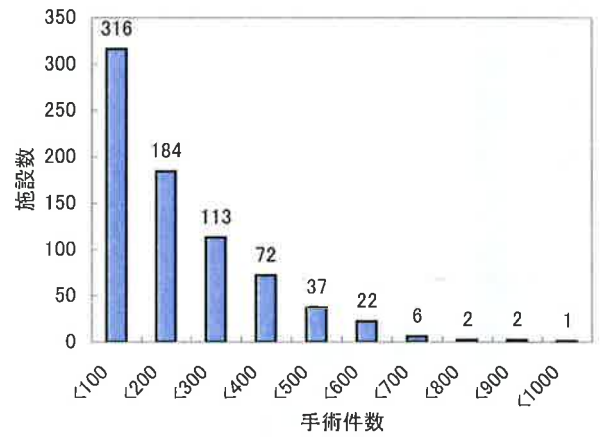
図A-13

5)年間手術症例数(2009年度)
脊髄麻酔又は硬膜外麻酔



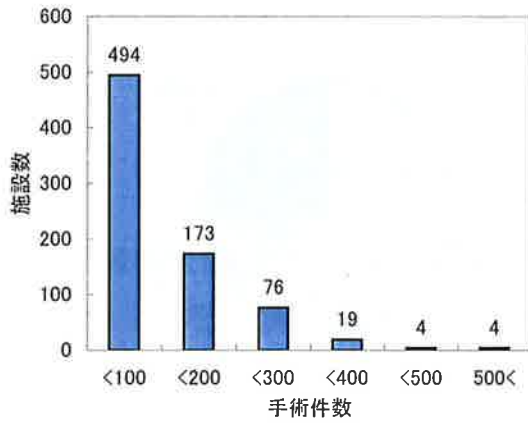
図A-14

6)月間手術症例数(2010年10月)
総手術例数



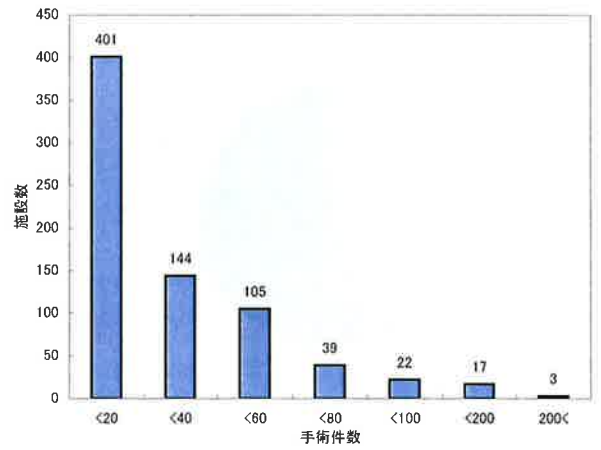
図A-15

6)月間手術症例数(2010年10月)
全身麻酔



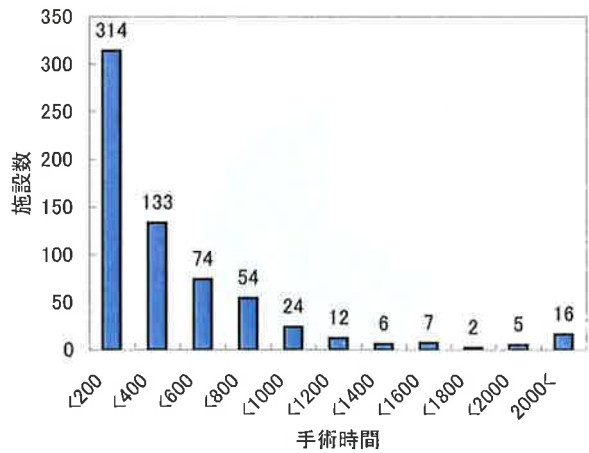
図A-16

6)月間手術症例数(2010年10月)
脊髄麻酔又は硬膜外麻酔



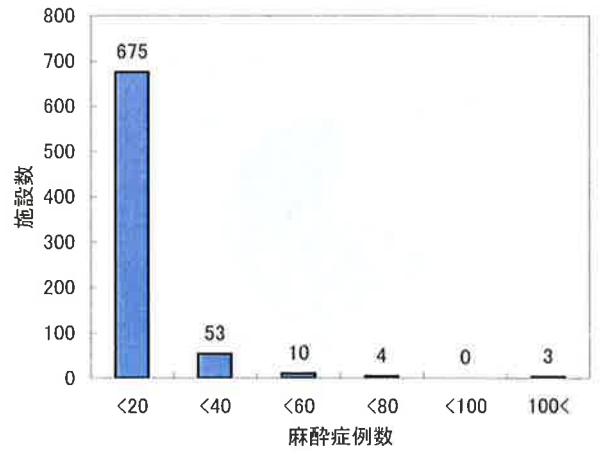
図A-17

7)総手術時間(2010年10月)
総手術時間

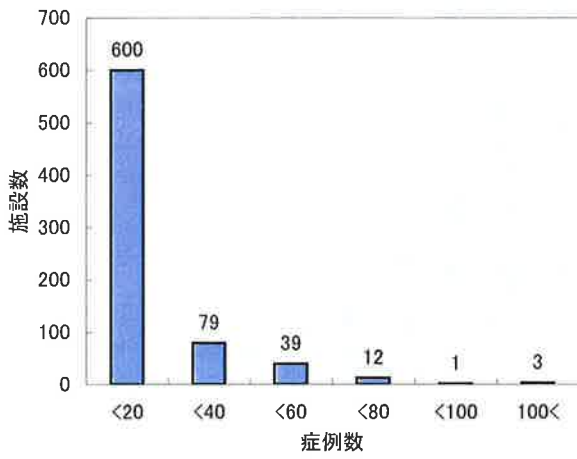


図A-18

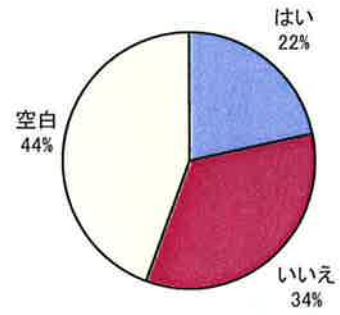
8)長時間手術(2010年10月)
長時間(6時間以上)症例数



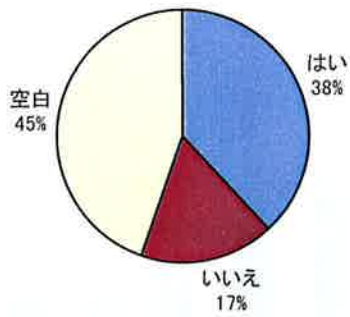
図A-19 8)長時間手術(2010年10月)
手術終了が午後7時を超えた症例数



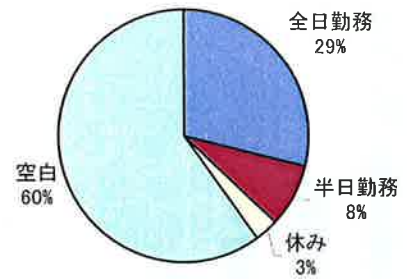
図A-20 14)常勤麻酔医師の当直制度



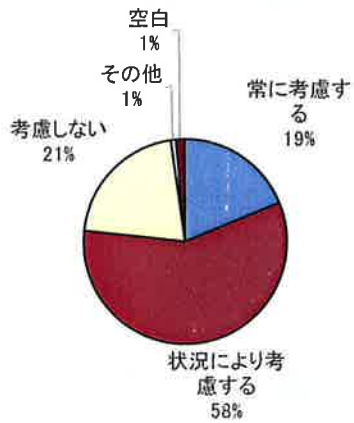
図A-21 15)常勤麻酔医師の宅直制度



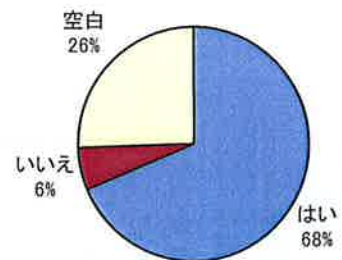
図A-22 16)当直明け勤務条件



図A-23 17)当直明け勤務内容の軽減

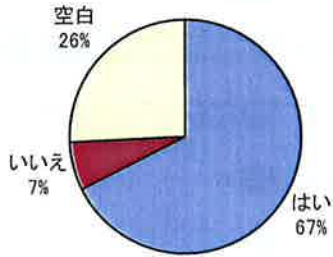


図A-24 18)女性医師への施設内制度
①産休制度



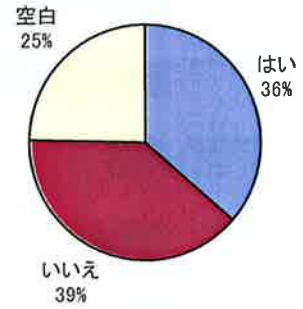
図A-25

18) 女性医師への施設内制度
② 育児休暇制度



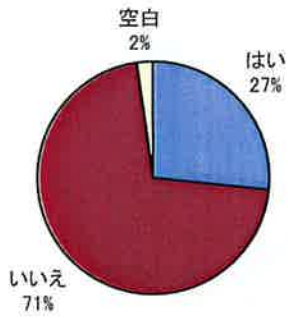
図A-26

18) 女性医師への施設内制度
③ 保育所の有無



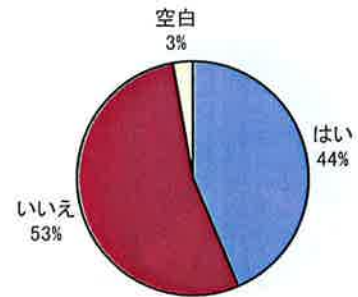
図A-27

18) 女性医師への施設内制度
④ 病時保育



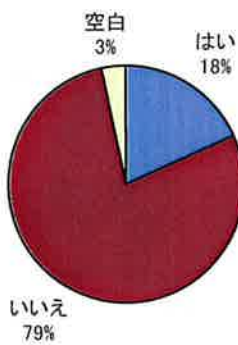
図A-28

18) 女性医師への施設内制度
⑤ 夜間保育



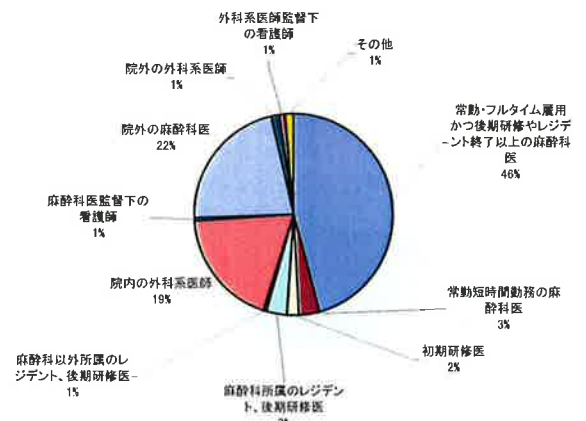
図A-29

18) 女性医師への施設内制度
⑥ 実際の利用

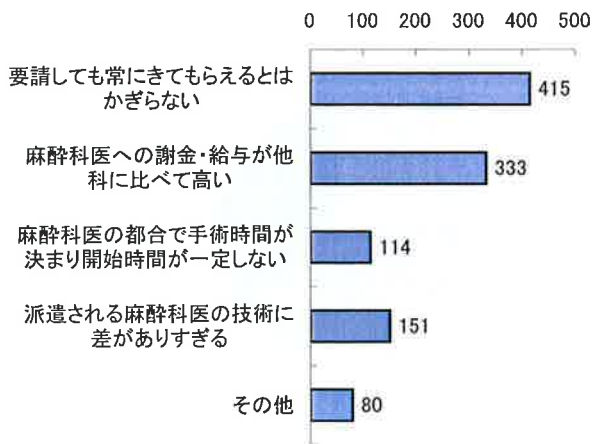


図A-30

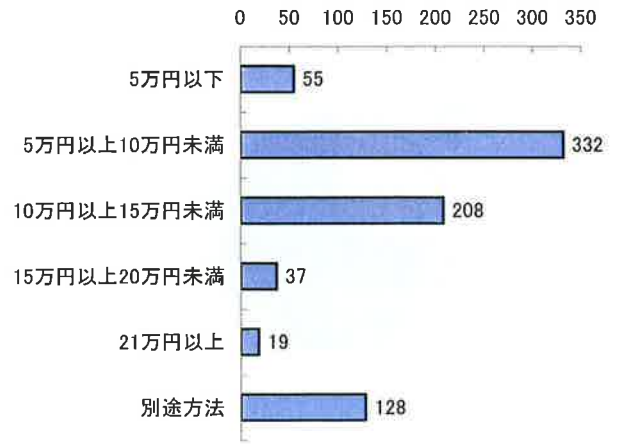
19) 麻酔科業務の担当配分



図A-31 22)外部要請の問題点

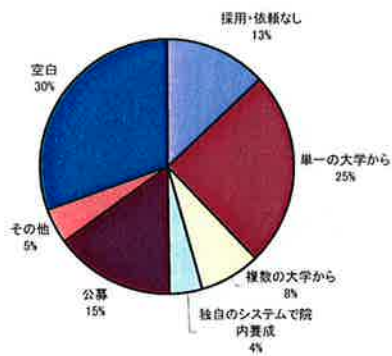


図A-32 23)謝金の日換算金額



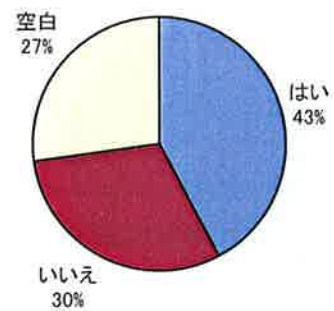
図A-33

29)常勤麻酔科医の供給ルート



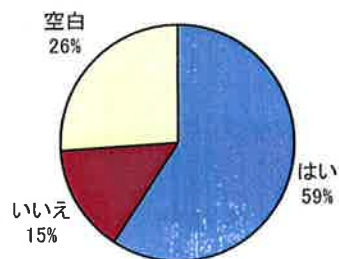
図A-34

33)手術室に関する臨床工学士



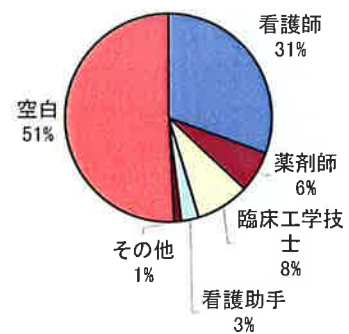
34) 麻酔器モニター設定・点検を行う医師以外の医療職

図A-35



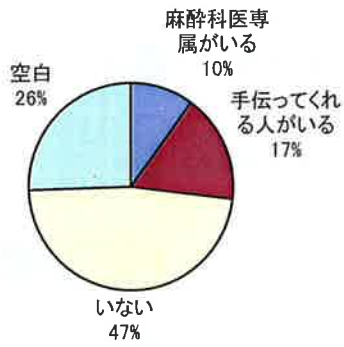
図A-36

35)それぞれの職種の業務は



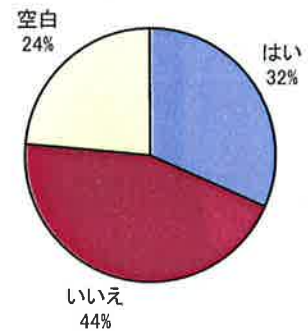
図A-37

36)医療クラーク有無



図A-38

37)ICUの有無



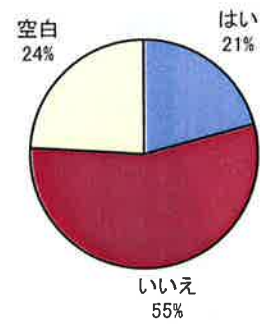
図A-39

38)ICUの専属医師



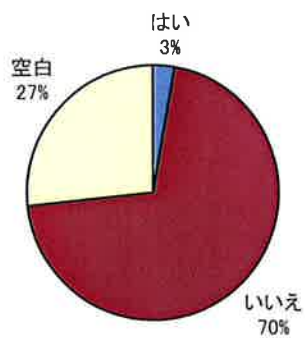
図A-40

39)ペインクリニックの有無



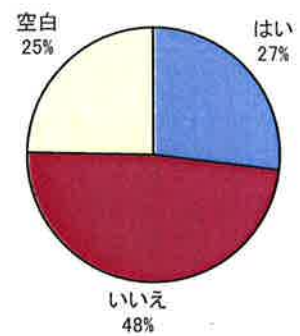
図A-41

41)術後痛対応チーム編成



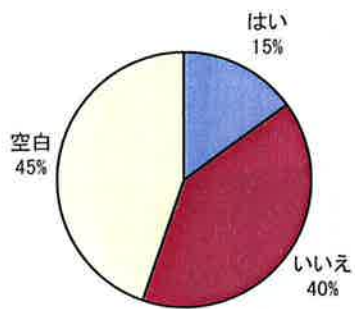
図A-42

43)救急部門の有無



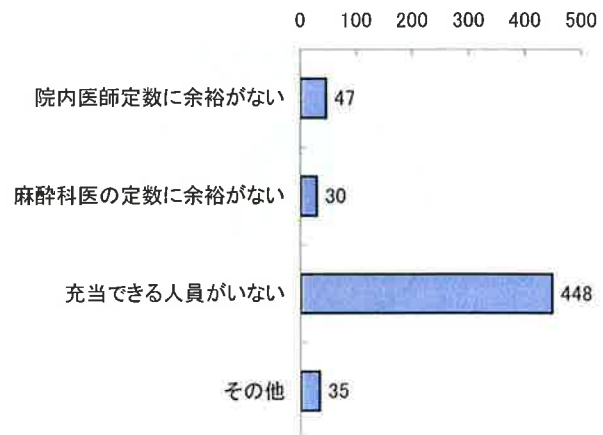
図A-43

45) 常勤麻酔科医の充足



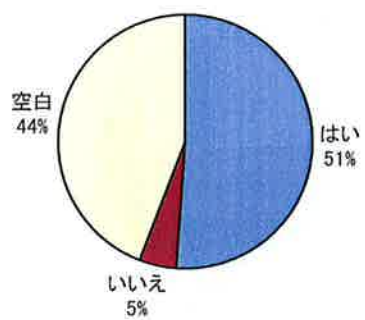
図A-44

46) 常勤麻酔科医の不足の理由



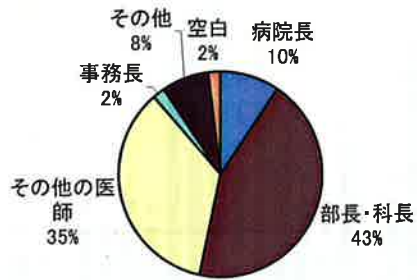
図A-45

47) 病院施設幹部の麻酔科への理解



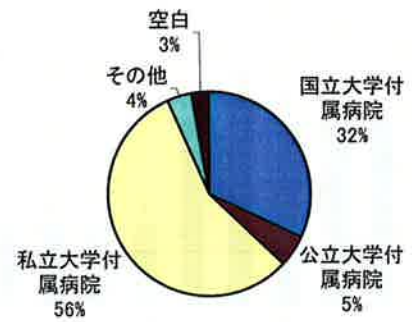
図B-1

身分



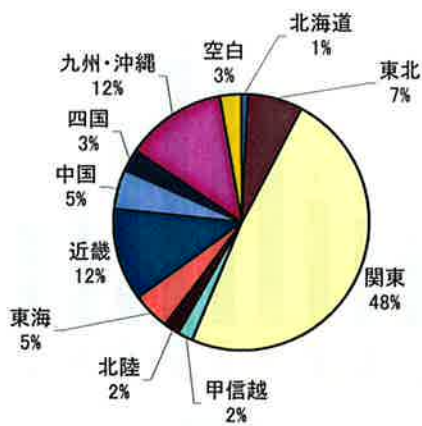
図B-2

設置主体



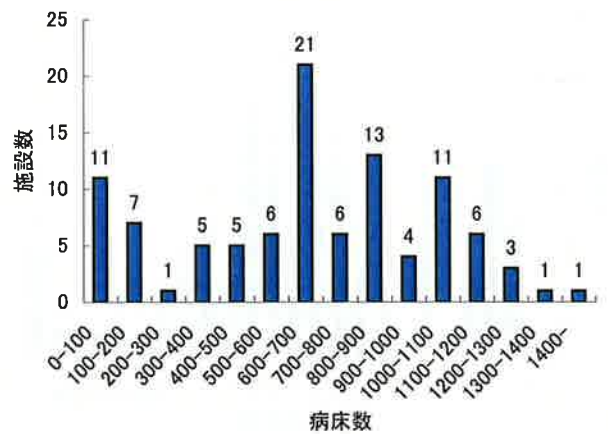
図B-3

設置都道府県



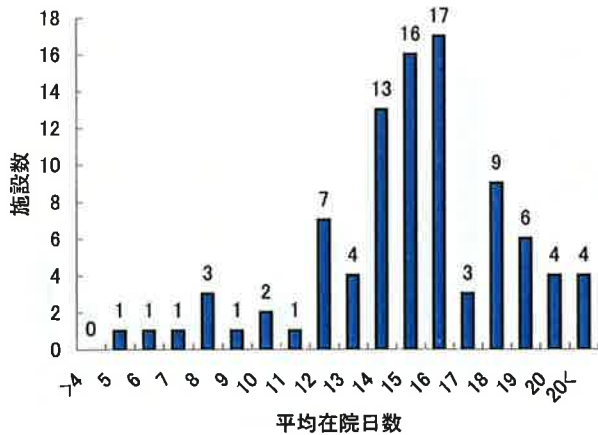
図B-4

病床数



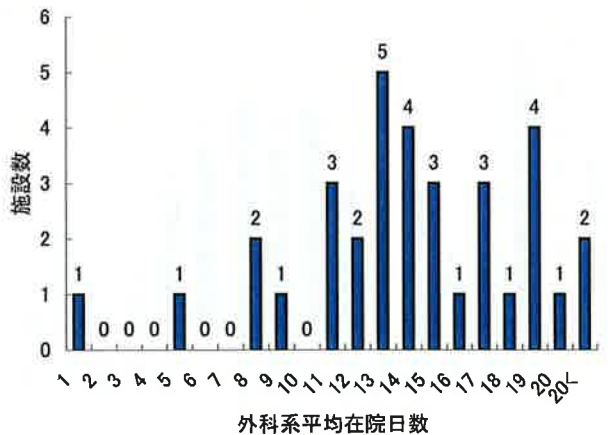
図B-5

平均在院日数

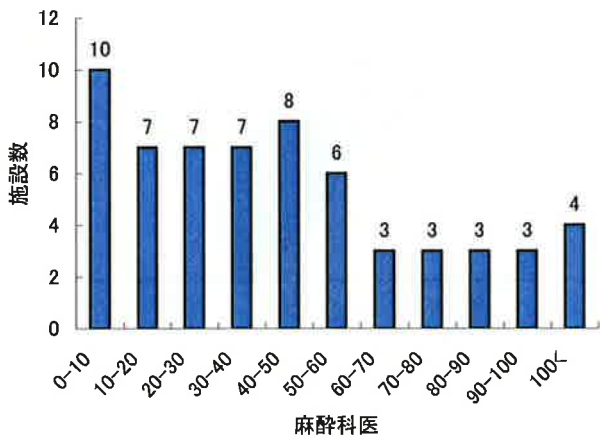


図B-6

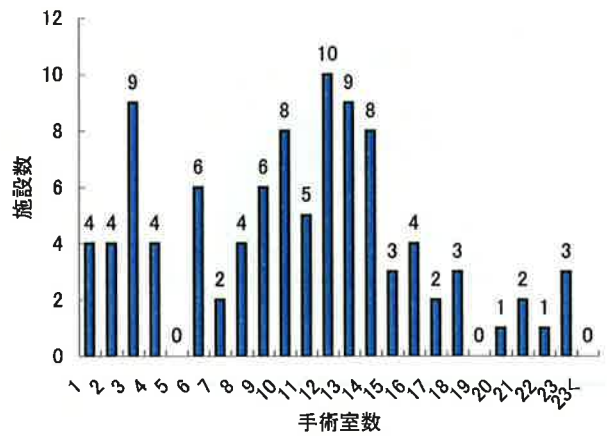
外科系平均在院日数



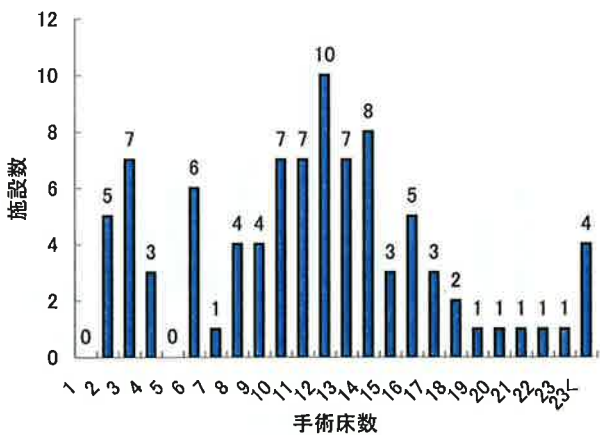
図B-7 3) 麻酔科医局の総医局員数



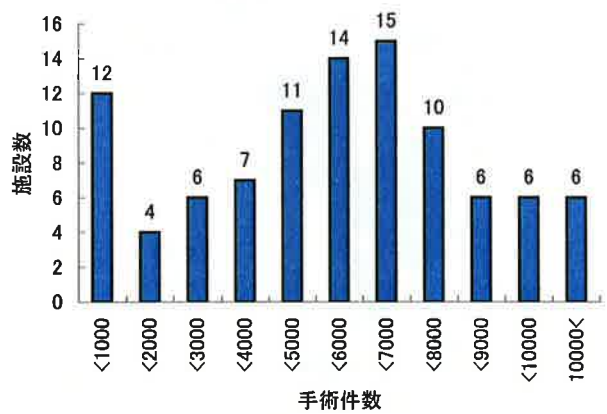
図B-8 4) 現有手術室数



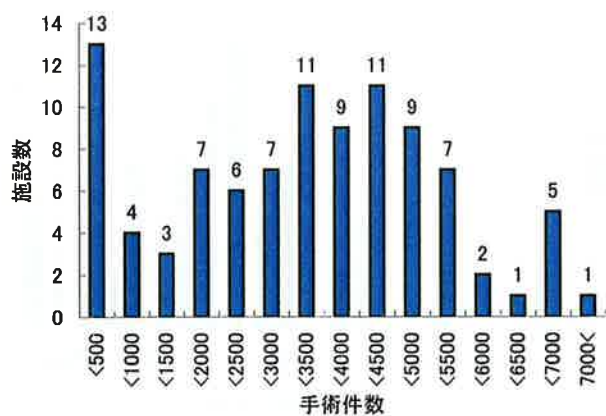
図B-9 4) 現有手術床数



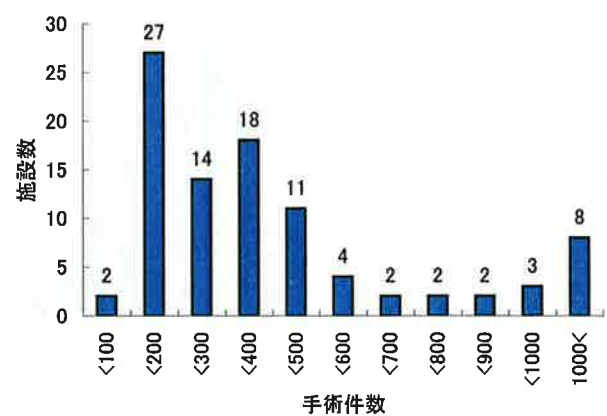
図B-10 5) 年間総手術症例数(2009年度) 総手術例数



図B-11 5) 年間総手術症例数(2009年度) 全身麻酔

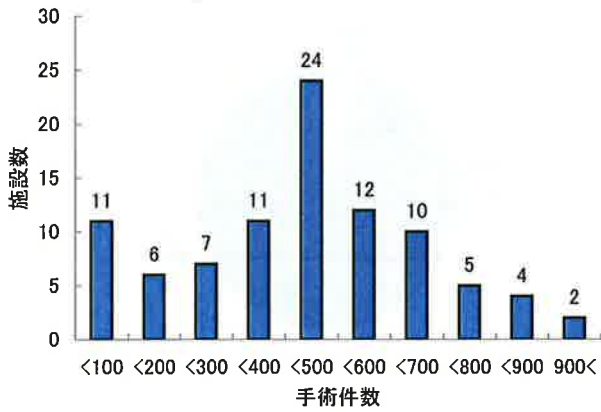


図B-12 5) 年間総手術症例数(2009年度) 脊髄麻酔又は硬膜外麻酔



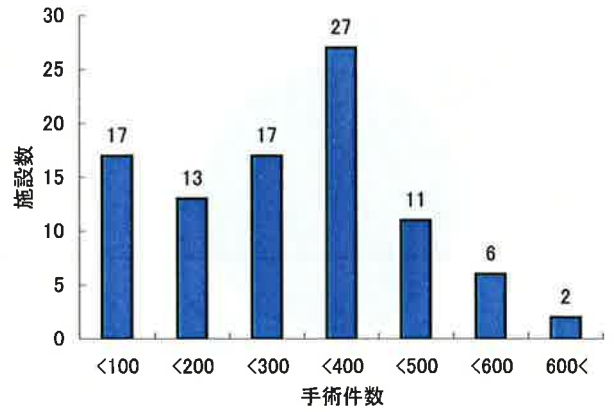
図B-13

6) 月間総手術症例数(2010年10月)
総手術例数



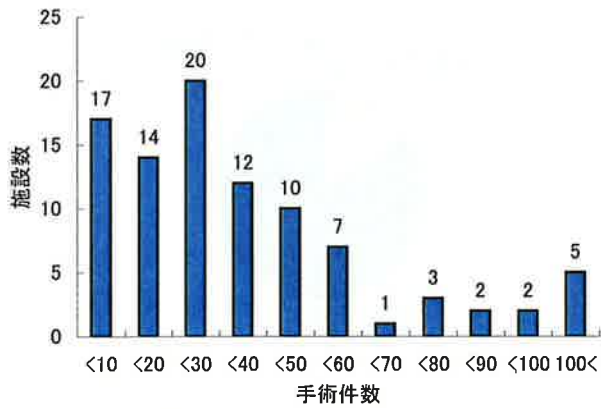
図B-14

6) 月間総手術症例数(2010年10月)
全身麻酔



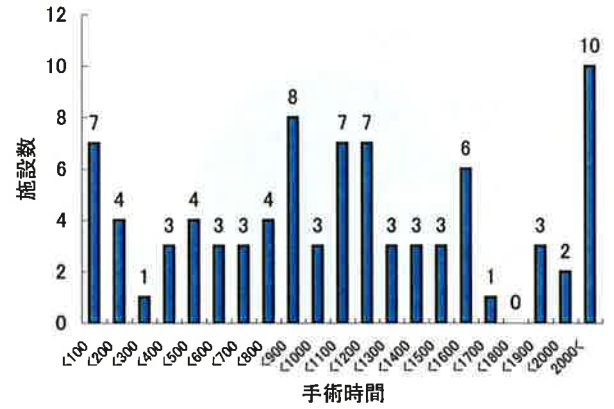
図B-15

6) 月間総手術症例数(2010年10月)
脊髄麻酔又は硬膜外麻酔



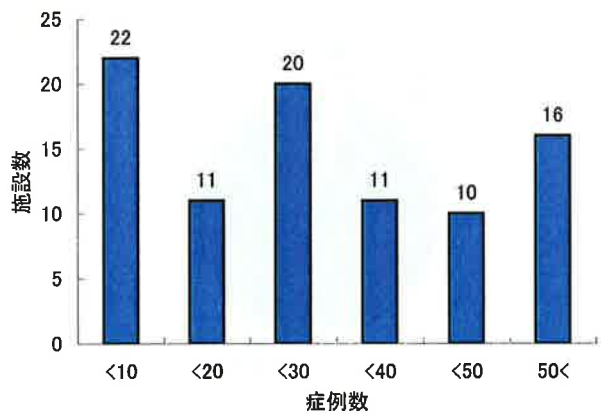
図B-16

7) 月間総手術時間(2010年10月)
総手術時間



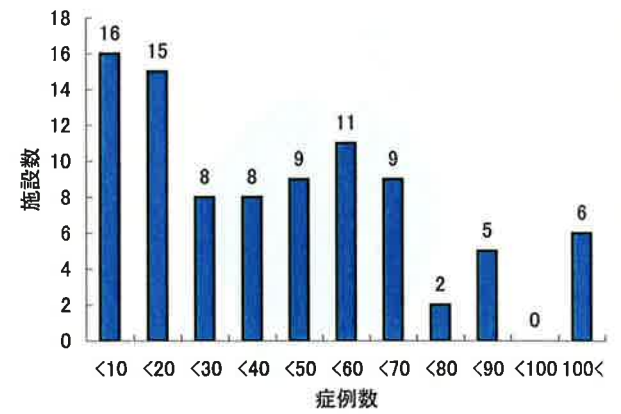
図B-17

8) 長時間手術(2010年10月)
長時間(6時間以上)症例数



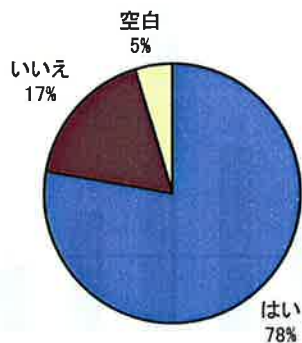
図B-18

8) 長時間手術(2010年10月)
手術終了が午後7時を超えた症例数



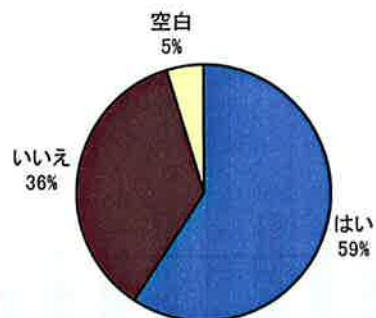
図B-19

14) 当直制度の有無



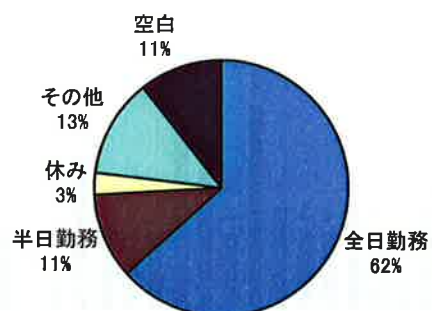
図B-20

15) 宅直制度の有無



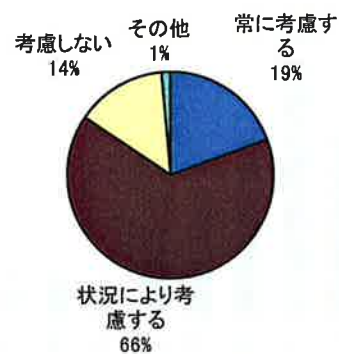
図B-21

16) 当直明けの勤務条件



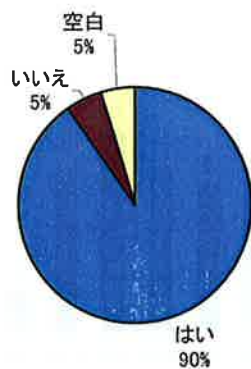
図B-22

17) 勤務内容の軽減



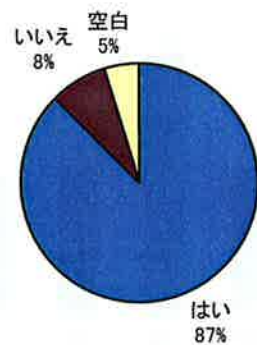
図B-23

18) 女性医師への施設内制度
①産休制度



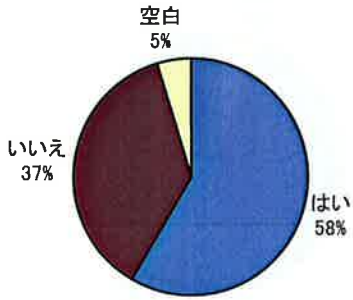
図B-24

18) 女性医師への施設内制度
②育児休暇制度



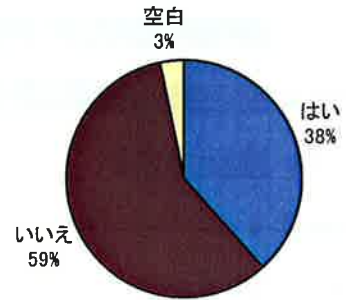
図B-25

18) 女性医師への施設内制度
③ 保育所の有無



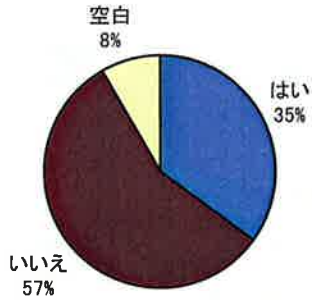
図B-26

18) 女性医師への施設内制度
④ 病児保育



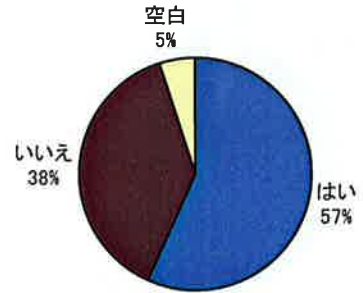
図B-27

18) 女性医師への施設内制度
⑤ 夜間保育



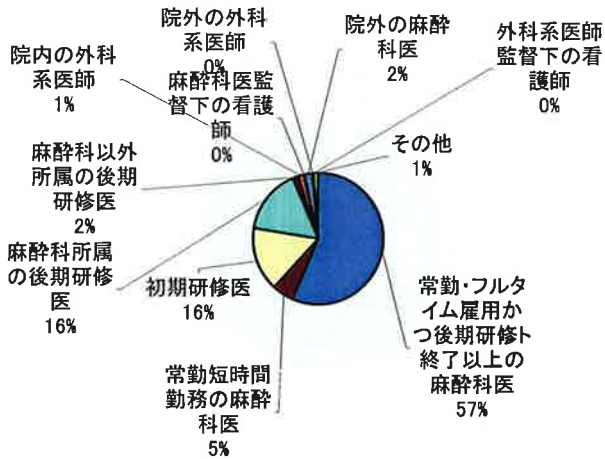
図B-28

19) 女性医師への施設内制度
⑥ 実際の利用



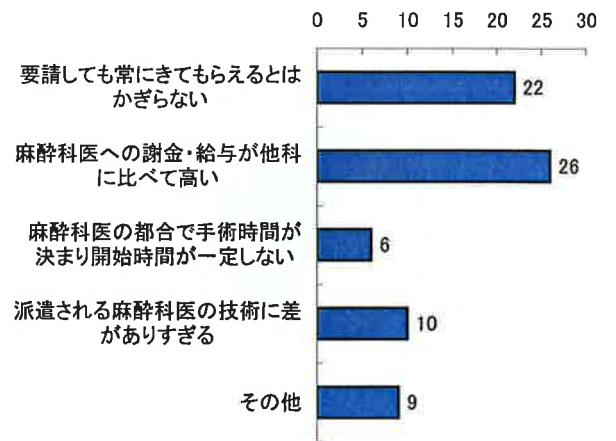
図B-29

19) 麻酔業務の担当配分



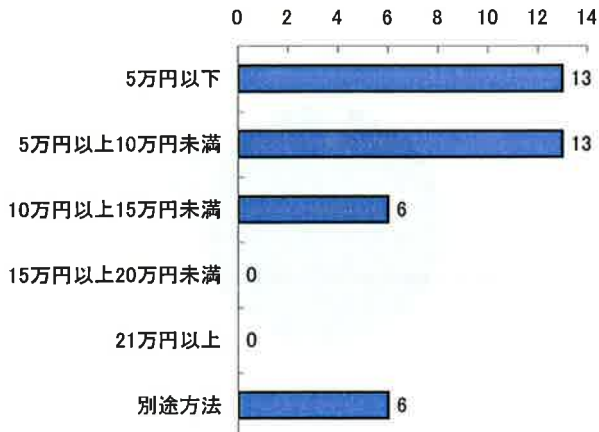
図B-30

23) 外部要請の問題点



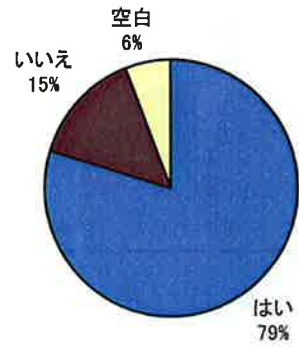
図B-31

24) 謝金の日換算金額

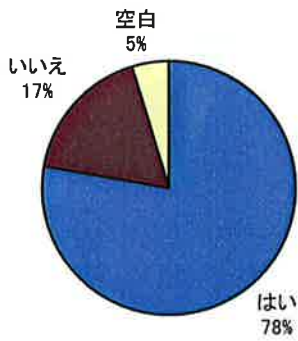


図B-32

29) 手術室に関する臨床工業技士

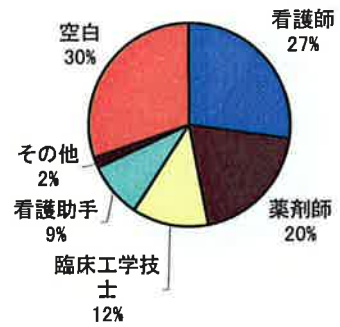


30) 麻酔器モニター設置・点検を行う医師以外の医療職
図B-33



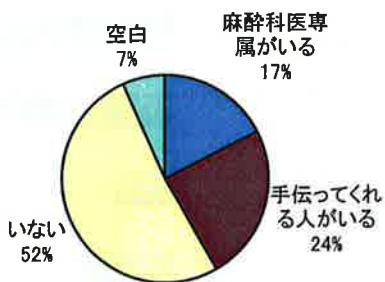
図B-34

31) 各職種の担当項目



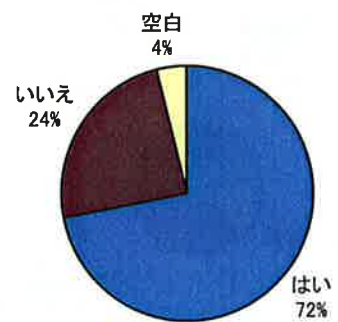
図B-35

32) 医療クラーク有無



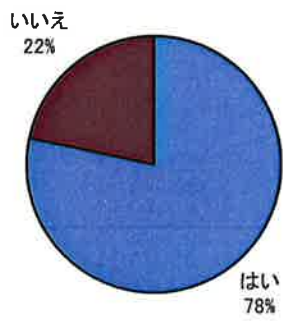
図B-36

33) ICUの有無



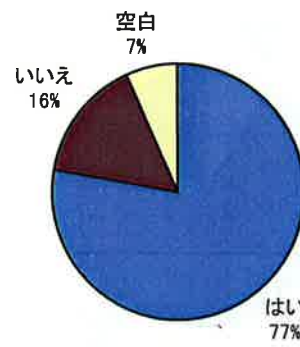
図B-37

34)ICU専属医師



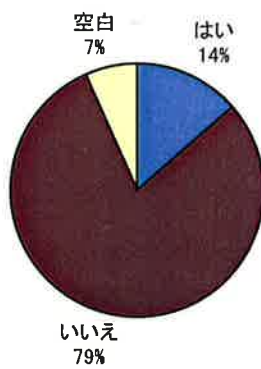
図B-38

36)ペインクリニックの有無



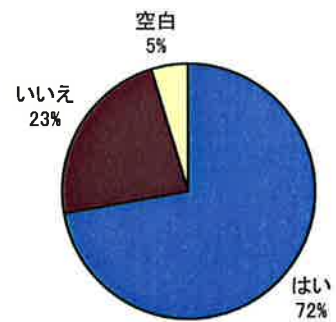
図B-39

38)術後痛対応チームの編成



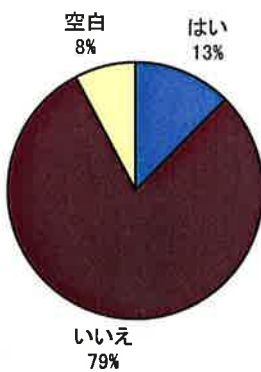
図B-40

40)救急部門の有無



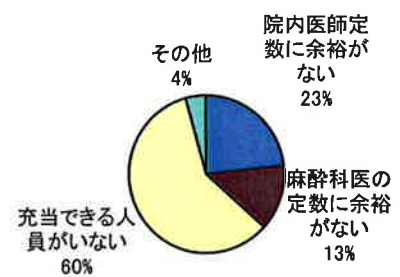
図B-41

42)常勤麻酔科医の充足



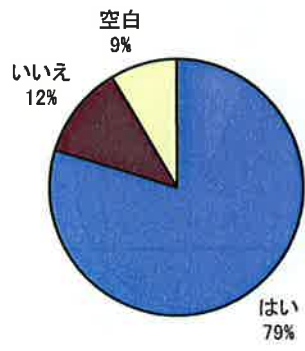
図B-42

43)常勤麻酔科医の不足の理由



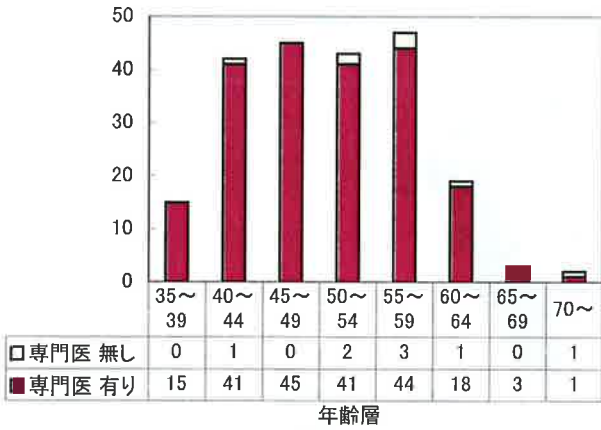
図B-43

44) 病院施設幹部の麻酔科への理解



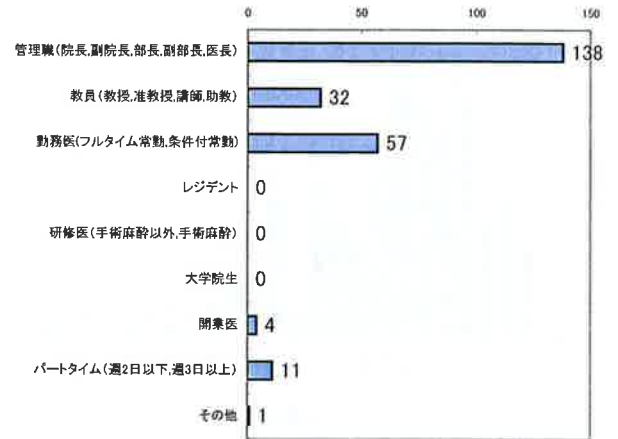
図C-1

1)年齢分布



図C-2

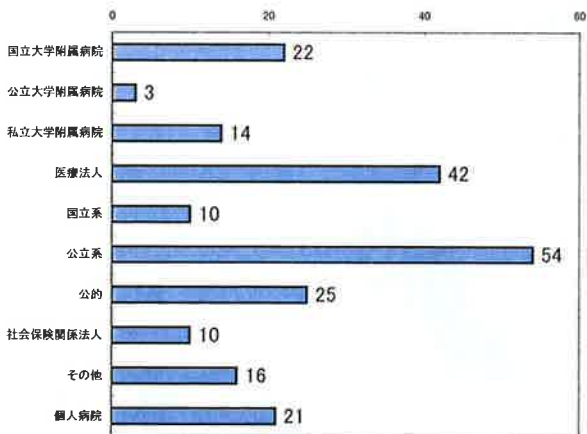
7)身分



※アンケート重複回答は考慮しておりません

図C-3

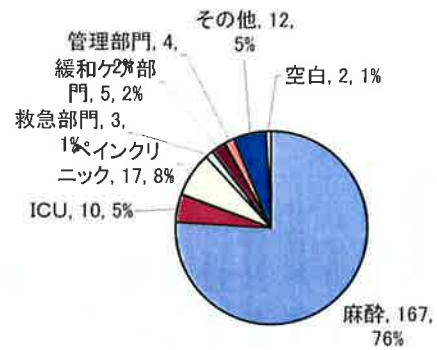
8)病院の設置主体



※アンケート重複回答は考慮しておりません

図C-4

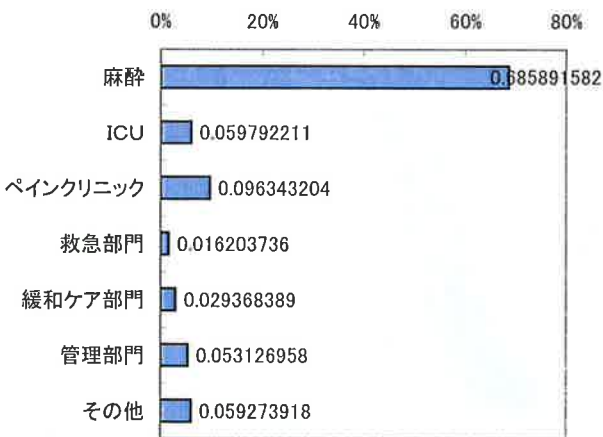
9)主たる業務内容



※アンケート重複回答は考慮しておりません

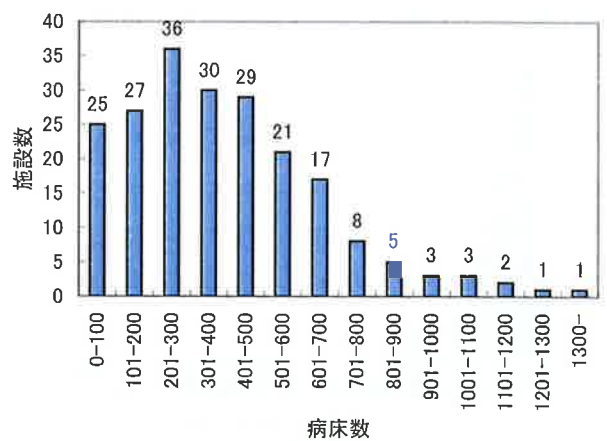
図C-5

10)仕事の配分割合



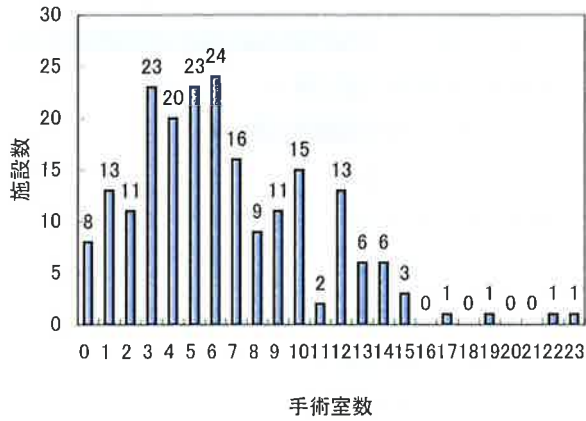
図C-6

12a)病床数の分布



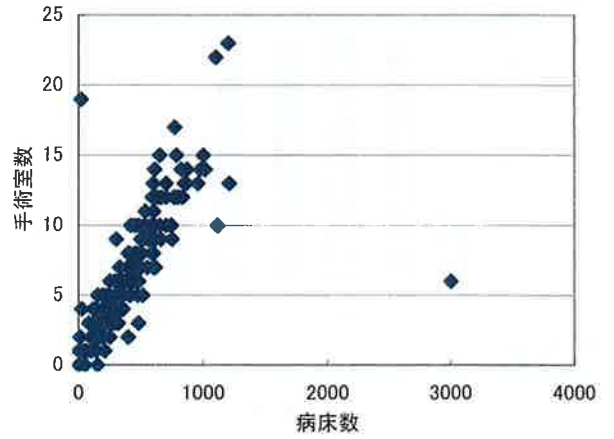
図C-7

12b)手術室数の分布



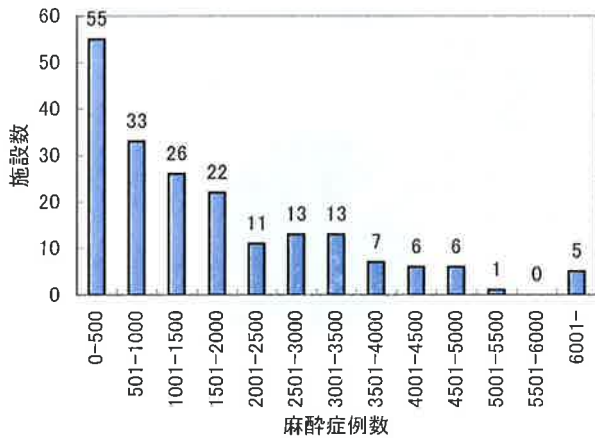
図C-8

12b)手術室数の分布



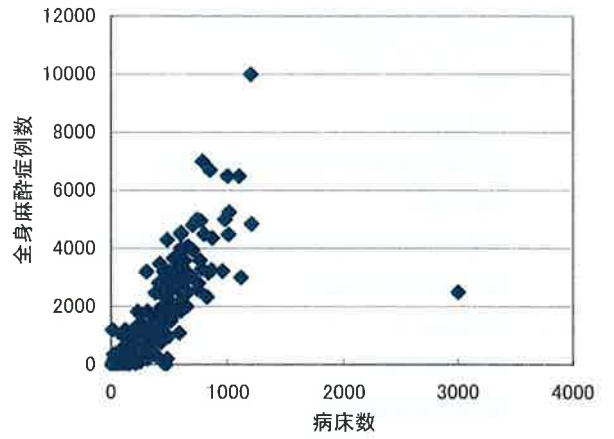
図C-9

12c)全身麻酔症例数の分布



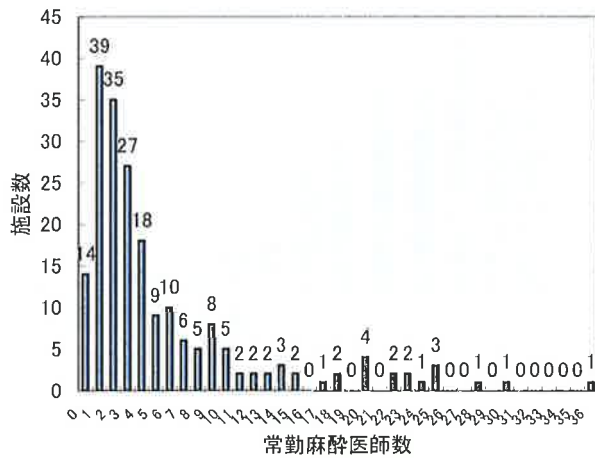
図C-10

12c)全身麻酔症例数の分布



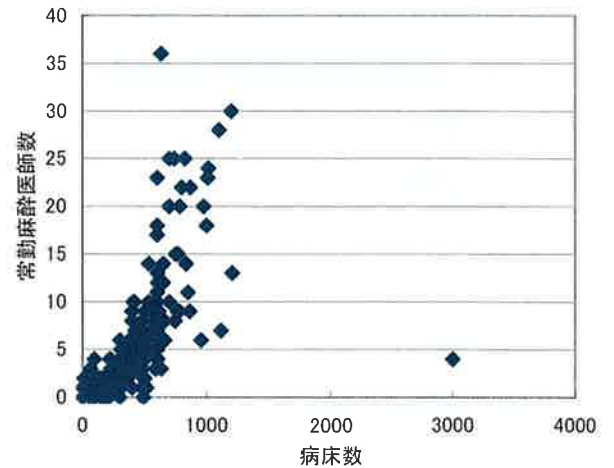
図C-11

12d)常勤麻酔医師数の分布



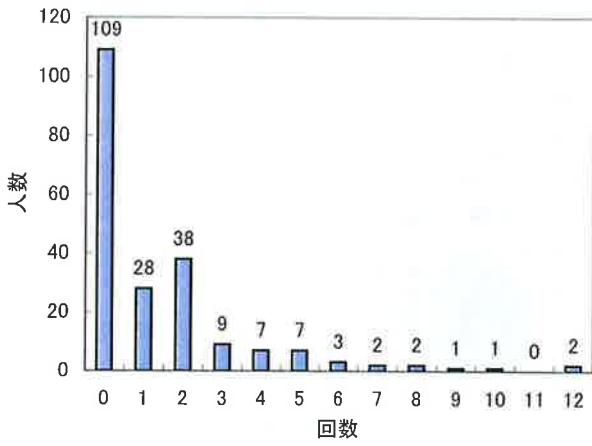
図C-12

12d)常勤麻酔医師数の分布



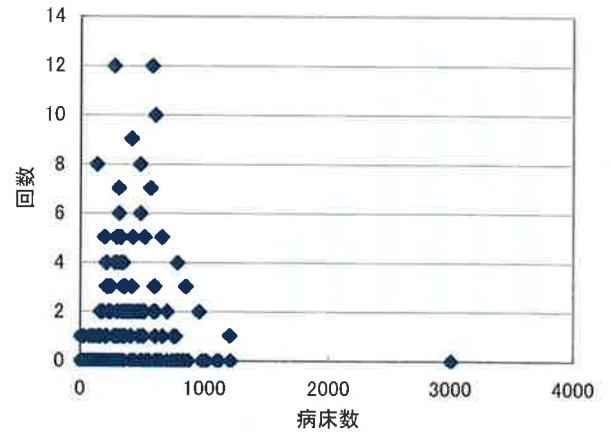
図C-13

15)1ヶ月間の緊急呼び出し回数



図C-14

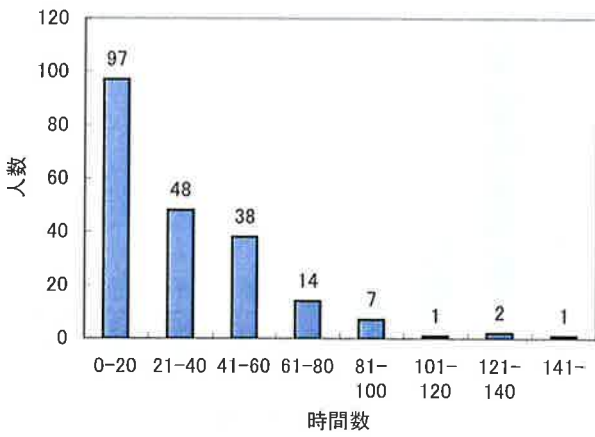
15)1ヶ月間の緊急呼び出し回数



※参考資料ではY軸が『日数』という名称になっています。

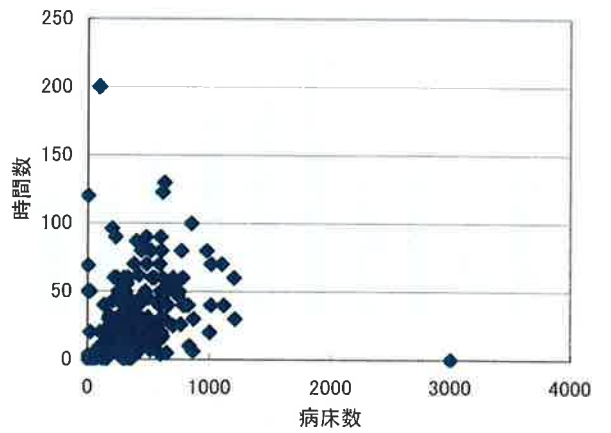
図C-15

16)1ヶ月間の時間外労働時間数



図C-16

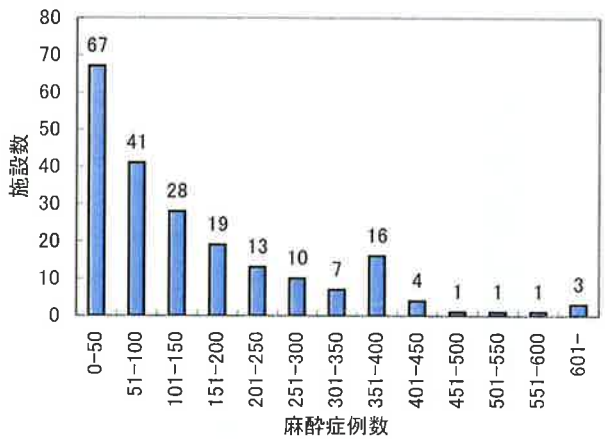
16)1ヶ月間の時間外労働時間数



※参考資料ではY軸が『日数』という名称になっています。

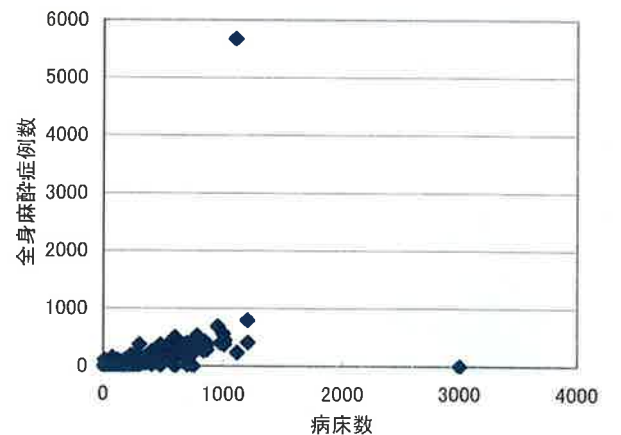
図C-17

17)1ヶ月間の施設全身麻酔症例数

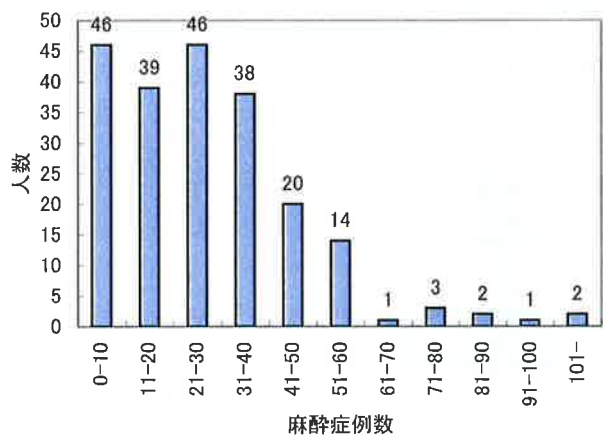


図C-18

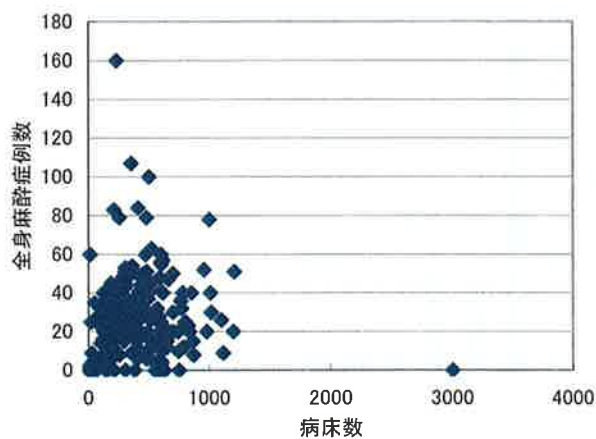
17)1ヶ月間の施設全身麻酔症例数



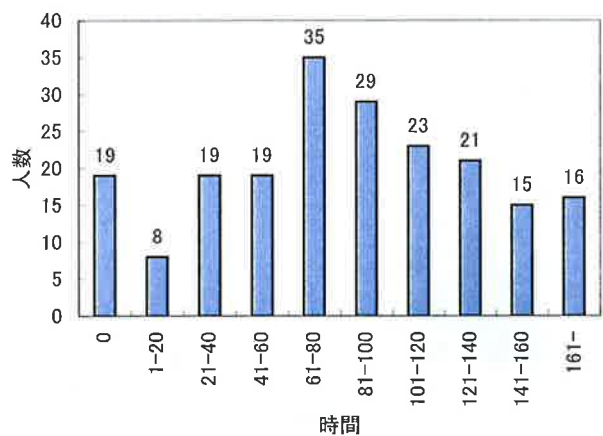
図C-19 18)1ヶ月間の一人当たり全身麻酔症例数



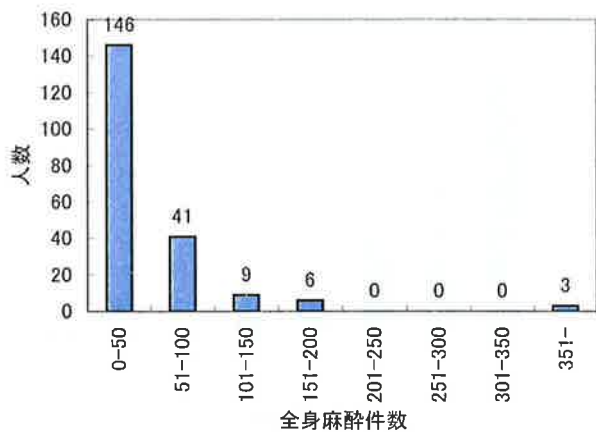
図C-20 18)1ヶ月間の一人当たり全身麻酔症例数



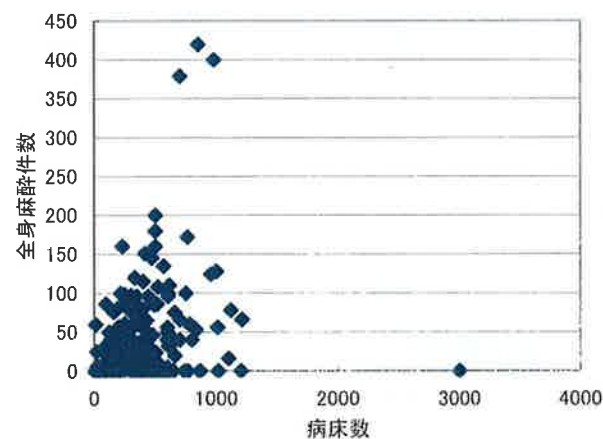
図C-21 19)月間全身麻酔合計時間



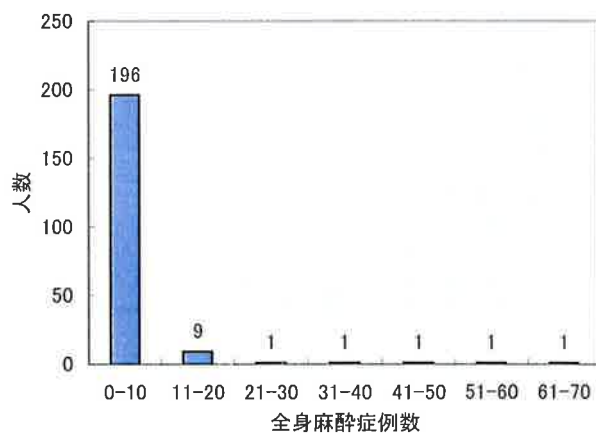
図C-22 20)1ヶ月間に関与した全身麻酔件数



図C-23 20)1ヶ月に関与した全身麻酔件数

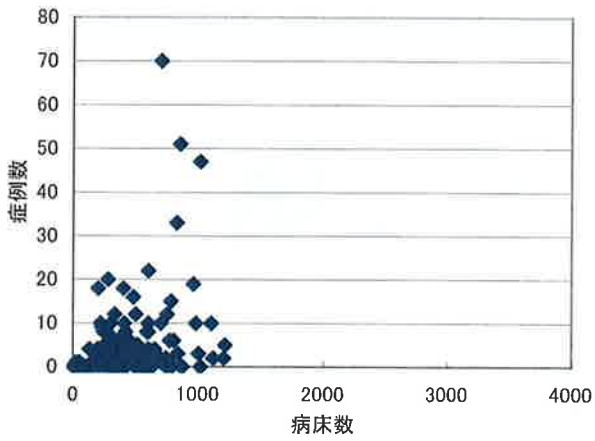


図C-24 21)1ヶ月間の長時間症例数



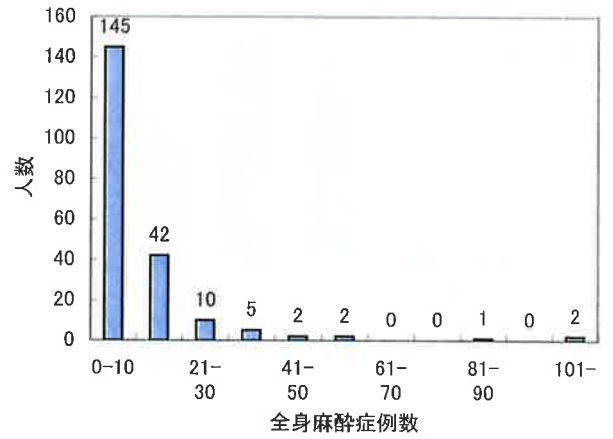
図C-25

21)1ヶ月間の長時間症例数



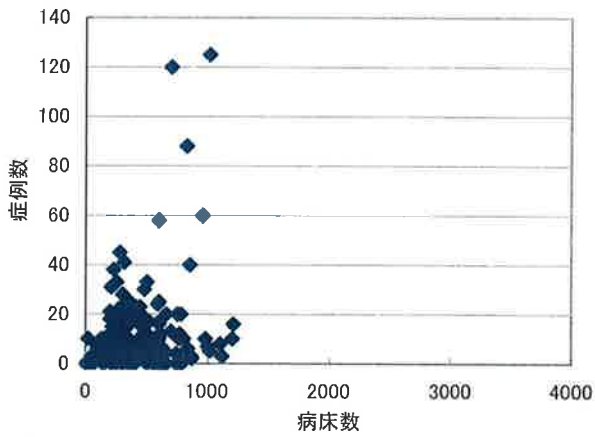
図C-26

22)1ヶ月間の17時以降終了件数



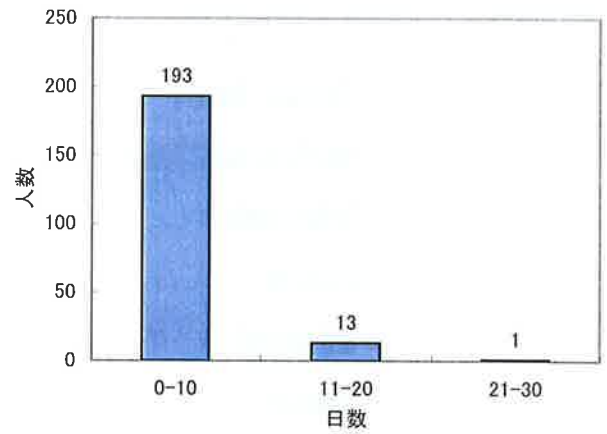
図C-27

22)1ヶ月間の17時以降終了件数



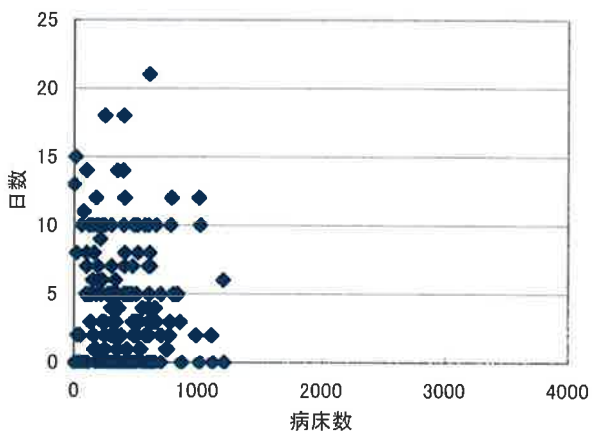
図C-28

23)有給休暇取得日数



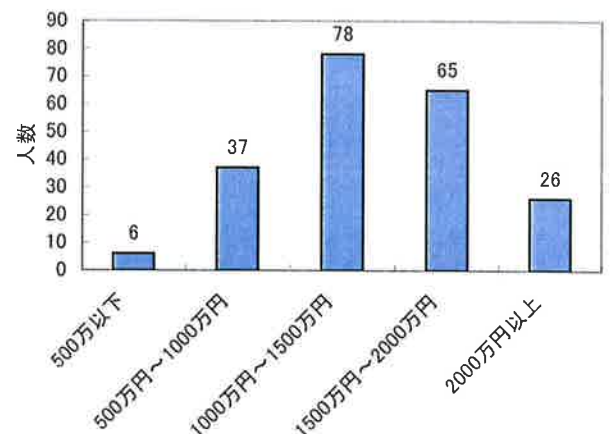
図C-29

23)有給休暇取得日数

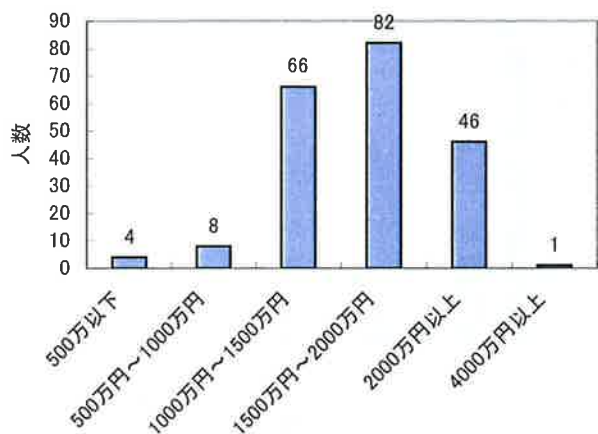


図C-30

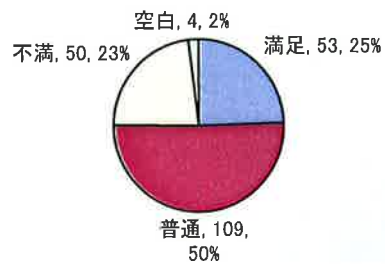
24)所属施設における年収



図C-31 25)年収合計



図C-32 26)現在の満足度



図C-33 不満の理由(複数回答)

